

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1年	1	必修
担当教員			
各担当教員			
C (商学部)	L (基礎科目)	SM (演習)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい (概要)	<p>知的活動、職業生活、社会生活で必要とされる基本的な日本語運用能力を身につけるための演習形式の科目。固定した少人数のメンバーが授業担当者の指導のもとで、文書の理解・要約、資料の分析、小規模なアンケート調査などの実習を行い、抽象的な概念を理解し、使ってゆくための知識や技能を身につける。また「日本語リテラシーⅠ」で導入した「書く」「話す」ための実習も継続し発展させる。</p> <p>あわせて、メンバー間の共同作業や地域でのフィールドワークなどの実践的な環境下での演習も取り入れ、問題解決力、コミュニケーション力、チームワーク力などの汎用的技能を支える日本語運用能力の演習を行ない、また、授業担当者やメンバーとの触れ合いを通して、教養の涵養と自主・自立の人間性を育む。</p>
-------------	---

授業計画	<p>第1回</p> <p>オリエンテーション ①授業の概要説明・成績評価に関する説明 ②他己紹介する (教科書実践編1章など)</p> <p>予習 (時間) : シラバスを再確認しておく (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第2回</p> <p>網羅・整理して説明する ①大学の科目体系などについてまとめ説明する (教科書実践編2章など) ②手帳を使ったスケジュール管理と自己管理 (教科書実践編4章など)</p> <p>予習 (時間) : 所を読み、文書作成 (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第3回</p> <p>読む基本 (1) ①精読のコツ (教科書実践編6章など) ②教員が準備した文章を読む</p> <p>予習 (時間) : 所を読み、文書作成 (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第4回</p> <p>読む基本 (2) ①パラグラフリーディング・要約のコツ (教科書実践編7章など) ②教員が準備した文章を要約</p> <p>予習 (時間) : 所を読み、文書作成 (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第5回</p> <p>フィールドワーク (1) 地域を読む ①事前準備 (調査・要約) ②上毛三碑 (山上碑、金井沢碑、多胡碑) の一つまでハイキング ③行程と「発見」を要約 注意：授業によっては別活動となる場合がある</p> <p>予習 (時間) : フィールドワークなどについて下調べ (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第6回</p> <p>フィールドワーク (1) 報告と意見交換、「話し・聞く」 ①前回の要約を口頭で報告、報告への意見 ②意見交換のコツ (教科書実践編5章など) 注意：授業によっては別活動となる場合がある</p> <p>予習 (時間) : 所を読み、文書作成 (30) 復習 (時間) : 授業での指示を参考のこと (30)</p> <p>第7回</p> <p>データ分析の基礎 ①データリテラシー基礎 (教科書実践編8章など) ②教員が準備したデータを解釈・分析する</p> <p>予習 (時間) : 所を読み、文書作成 (30)</p>
------	--

	<p>第8回 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>資料・文献を探す ①文献の資料の検索（教科書スキルアップ編9章など） ②インターネットを用いた調査（教科書実践編9章など）</p> <p>予習（時間）：所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第9回 資料・文献の読解・要約 前回の資料、あるいは教員が準備した資料の要約・発表</p> <p>予習（時間）：所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第10回 フィールドワーク（2）旧富岡製糸場見学（前） ①2コマ連続で授業を実施できる日程を決定する ②上信電鉄（高崎商科大学前駅ー上州富岡駅）に体験乗車する ③上州富岡駅から旧富岡製糸場まで歩き富岡市内を見学する 注意：授業によっては別活動となる場合がある</p> <p>予習（時間）：フィールドワークなどについて下調べ（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第11回 フィールドワーク（2）旧富岡製糸場見学（後） ①旧富岡製糸場および富岡市内の大学の活動拠点を見学する ②旧富岡製糸場見学に関するレポートを作成して提出する 注意：授業によっては別活動となる場合がある</p> <p>予習（時間）：フィールドワークなどについて下調べ（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第12回 アンケートを分析する ①アンケートの準備（教科書スキルアップ編 10章など） ②アンケートのとり方（教科書実践編19章など） ③授業内での実施、分析</p> <p>予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第13回 インタビュー行う ①インタビューのしかた（教科書実践編 26章など） ②教員が準備したインタビュー集などを読み、要約・意見交換</p> <p>予習（時間）：教科書の該当箇所を読み、文書作成（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第14回 応用実習 ①アンケート・インタビューのいずれかを実際に実施して、結果を分析する</p> <p>予習（時間）：教員の指示に従う（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p> <p>第15回 まとめ ①半期を振り返って（学修したことについての確認） ②授業に関して、受講生同士でまとめの話し合い</p> <p>予習（時間）：授業での学修の振り返り（30） 復習（時間）：授業での指示を参考のこと（30）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DPの1. 職業人的倫理観を持ち、組織で協働できる能力 2. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 の修得を目指す。</p> <p>【身に付くスキル】 表現力・協働力</p>
到達目標	<p>①様々な文書を理解し、要約・分析し、意見を述べるができる。 ②グラフや表などの資料を適切に分析できるデータリテラシー能力を持っている。 ③インターネットや図書館を利用して文献調査を行うことができる ④アンケート調査やインタビュー調査などの基本的な知識がある。 ⑤大学での学びや進路に向けて目標をたて、計画・実行・評価・改善ができる ⑥⑤に関連づけて食生活やタイムマネジメントなどの自己管理できる。 ⑦積極的に発言でき、他の人の考えや意見を聞くことができる。 ⑧グループで共同作業ができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバック	<p>課題への個別の添削、全体的な講評、フィールドワークや調査の助言等、授業担当者の判断で行う。</p>

の方法	
履修上の注意	大学における学修・研究、また社会生活、職業生活の基礎となる科目であり、少人数の演習形式科目という性質上、主体的な参加が必要である。以下の事項について十分に注意すること。(1) 遅刻、欠席は極力避ける。(2) 病気など、やむをえない欠席の場合には事前に担当者に連絡する。(3) 他メンバーの発言に耳を傾け、積極的に発言する。(4) 社会や自己について日頃より考え、大学での自らの学修のテーマとの関わりを意識する。
成績評価の方法・基準	到達目標①、② 50% (授業の参加度・提出物などで評価) 到達目標③、④20%(授業の参加度・提出物などで評価) 到達目標⑤、⑥ 15% (授業の参加度・提出物などで評価) 到達目標⑦、⑧15%(授業の参加度で評価)
教科書	大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編 著者名：橋本, 安倍, 福島 出版社：三省堂 価格：1900円/大学生のための日本語表現トレーニング 実践編 著者名：橋本, 安倍, 福島 出版社：三省堂 発行年：1900年
参考書・教材	【参考書】必要に応じて紹介する。
備考	演習科目
教員との連絡方法	初回授業時に授業担当者より指示する。